庄内余目病院 広報誌

# あまるめ～る

2017年
2月号
Vol.180

「凍る滝」撮影者／山本 孝子さん(酒田市)‥‥写真ルポP13

ー連載ー
ドクターズリレー **インプラント治療でできること** ≪歯科口腔外科≫（P4）

◆寺田院長の「んだんだ！通信」（P2）◆「救肢講演会」を秋田市で開催（P3）◆Nursing for you 69（P6）
◆患者さん体験記―心筋梗塞（しんきんこうそく）-（P8）◆健康友の会コーナー（P10）◆解説します！病院のことば（P12）
◆リハビリだより・お知らせコーナー（P13）◆診療担当医師予定表（P14）

寺田院長の
## んだんだ！通信 vol.76

庄内余目病院の“んだんだ”（そうそう）と思う話題や日々の出来事、医療の話をお届けします。

# 安静は麻薬である

庄内余目病院　院長 寺田（てらだ）　康（やすし）

「安静は麻薬である」安静はとても気持ちがよく、でも確実に患者さんの体をむしばむ、というリハビリテーションの領域で語られている格言です。

「腰痛の安静は３日まで」これは昨年秋の病院健康フェスティバルの医療講演での、当院清野光理（せいのみつよし）整形外科部長の言葉です。特に高齢者は、これ以上の長期の安静は筋力、体力の衰えを引き起こし悪いことの方が多くなるという意味です。

安静は個人ばかりでなく組織にも同じことが言えます。組織にとっての「安静」＝「何もしない」＝「現状維持」は、居心地はいいのですが、組織は活性を失い衰退に至ります。

これは庄内余目病院でも同じです。新年を迎えましたが、２年越しで解決、実現しない問題が多々あります。笛吹けど踊らず、ひとえに自分の指導力不足ですが、変化を好まない気風は、稲作が伝来した縄文時代晩期から約2,700年、毎年毎年同じように変わらず、横並び一線で米を作ってきた庄内の米作り文化も影響しているのかも知れません。

自分は組織が結束して新しいことや困難に立ち向かっていく時の一体感、瞬発力、躍動感が好きです。

さて写真は雪の夜の余目駅です。降る雪を写真に映す技術を教わり早速実践してみました。年々、余目の積雪が少なくなっているような気がして寂しい限りです。やはり庄内の冬は雪、しかも地吹雪ですよね！

んだんだ！

# 医療職を対象とした「救肢講演会」を秋田市で開催

昨年12月10日（土）、秋田市にぎわい交流館AU（あう）において、「あきらめない足病治療」をメインテーマに救肢講演会を開催しました。当日は小雪交じりのとても寒い日でしたが、医師、看護師、介護福祉士、社会福祉士、ケアマネジャーなど50名の医療従事者が参加しました。

講演1では、富樫真二（とがししんじ）創傷ケアセンター長が「あきらめない足病治療」と題し、足を救うための院内の取り組みを紹介し、“難治性（なんちせい）の足潰瘍（あしかいよう）、壊疽（えそ）※1になっても決してあきらめてはいけない。皆さん一人ひとりが早期発見・早期治療に導くゲートキーパーとなってほしい”と、多職種連携の重要性を話しました。また講演2では、三浦弘子（みうらひろこ）糖尿病療養指導士が「見逃さない足病の見方とフットケア」と題し、当院のフットケア外来で行っているアセスメント※2の方法と予防の実際を紹介。“小さな足の変化や異常に早期に気付き、迅速に対応することが足を救うための第一歩”と話しました。

講演後のアンケートでは「秋田県でも足壊疽の治療、フットケアを専門にできる病院が増えてほしい」「大変勉強になりました。山形が近く感じて心強いです」「訪問看護は時間に限りがあり難しいのですが、フットケアをやってみたいと思います」「とても参考になった。次回は実技も学びたいと思います」など多数の意見・要望を頂きました。

多職種が連携をとって一人でも多くの患者さんの足を救えるよう、これからも講演会活動を続けていきます。（企画課長／遠藤）

≪講演1≫
**あきらめない足病治療**

庄内余目病院
創傷ケアセンター長
（兼）形成外科部長
富樫真二

≪講演2≫
**見逃さない足病の見方とフットケア**

庄内余目病院
糖尿病療養指導士
三浦 弘子

※1皮膚や皮下組織が深く傷つき、死滅して黒色や暗褐色（あんかっしょく）に変色する状態　※2足の観察・評価

会場にはフットケア器具の展示ブースもあり、大勢の方が足を運びました。また、皮膚・排泄ケア認定看護師が様々な足の傷や悩みに関する個別相談を行いました。

ドクターズリレー
第30回

歯科口腔外科

# インプラント治療でできること

失ってしまった歯を元の自然な歯に近い状態にする「インプラント治療」（人工歯根）。その技術は日々進化し、治療期間が短縮され、今まで治療を受けられなかった人も受けられるようになってきています。

今月の担当医師は…

庄内余目病院
歯科口腔外科部長
清水（しみず）　一（はじめ）

## 大切な歯を失ってしまったら？

食べる楽しみは大きな喜びです。笑った時に白い歯が見える素敵な笑顔は、人前での自信になります。さらに健康な歯は人生を豊かにし、体と心を若返らせるアンチエイジングの効果があります。一方、歯が無くなると老けた顔になり、食べる物が制限されるばかりか、最近は生活習慣病と歯周病の関連が沢山報告されています。調子の悪い歯が病気の元になっているのです。

しかし、永久歯は人生に１回しか生えません。そこで、デンタルインプラントにより失った歯を回復する治療法が50年前に誕生しました。今では安定した一般的な治療法として、多くの歯科医療機関で治療を受けることができます。特に近年は、様々な患者さんの状況に対応するための新しい技術が開発されています。今回は、現在主流となっているインプラント治療の基本的な流れと、当院で取り組んでいる新しい技術による治療法を紹介します。

＜診査・診断＞

ＣＴ検査画像をもとにコンピューターで骨の質・形態や神経を正確に診断し、専用ソフトを用いてインプラントを埋め込む理想的な位置を決めます。

＜手　術＞

骨の質・量・形態に問題がある時は骨の移植手術で整えます。

１次手術で設計と同じ位置にインプラントを正確に埋め込みます。インプラントを骨内に２か月以上安置させ、骨との一体化を待ちます。

２次手術では歯肉を切開してインプラントの頭部を出します。

＜補（ほ）　綴（てつ）＞

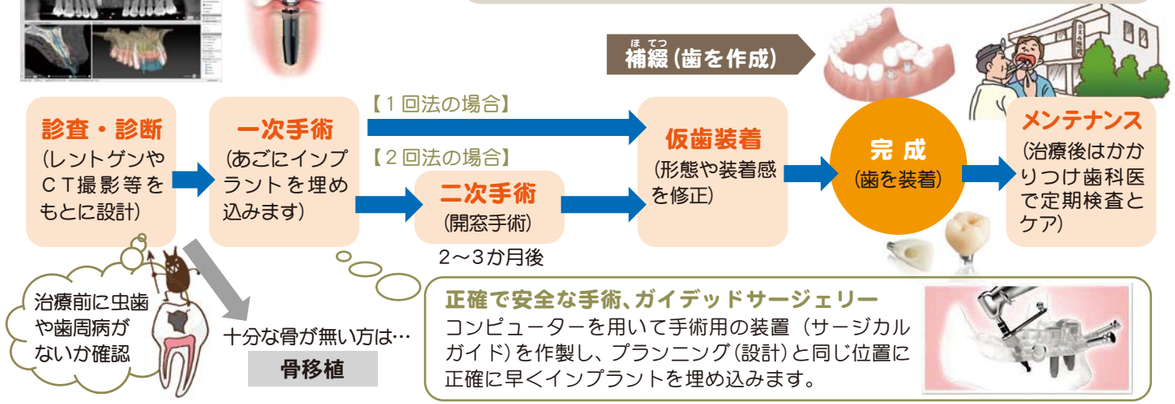
作る歯の数が多い時、口腔全体の修正が必要な時には仮歯を用いて形態を調整します。

＜メンテナンス＞

インプラント周囲の歯肉を健康に保つために、定期的に清掃・管理を行います。

【インプラント治療の流れ】

**チーム医療による治療≪インプラントネットワーク庄内≫**
これらのインプラントの手術・補綴（ほてつ）・技工・メンテナンスを、口腔外科医・かかりつけ歯科医・歯科衛生士・専門技工士が共同して行っています。




**正確で安全な手術、ガイデッドサージェリー**
コンピューターを用いて手術用の装置（サージカルガイド）を作製し、プランニング（設計）と同じ位置に正確に早くインプラントを埋め込みます。



**総入れ歯を固定性の歯に：All-on-4（オールオンフォー）**
歯が無くなるとあごの骨も痩せて減ってしまいます。特に奥歯の領域は上顎洞（じょうがくどう）、神経などの制約によりインプラントの埋め込みが困難なことが多いです。そこで、安全な前方の骨を最大限に利用して4本のインプラントを支えに12本の歯を固定します。骨移植が不要で手術当日に歯を回復することが可能です。

© Nobel Biocare

## よくある患者さんの声

「口の中を大きく切るのが怖い、抵抗がある…」
⇒鎮静法では意識のない状況での手術、「フラップレスサージェリー」では切開をしない手術が可能です。出血・腫れ・痛み・手術時間や治癒期間が緩和、短縮されます。

「治療中、歯が無いのは困る、歯が早くほしい」
⇒条件が整えば、抜歯と同時にインプラントを埋め込むことや埋め込み後に早期に歯を装着することもできます。

「インプラントが出来ない方はいますか？」
⇒抜歯が問題なく出来る方は大丈夫です。年齢制限はなく、高齢の方も可能です。骨密度低下を予防する薬は、あごの骨の壊死（えし）を招きやすいので、過去に服用・注射歴がある方は出来ません。

「歯の見た目が気になります」
⇒壊れにくいジルコニアの白い歯を使用します。従来の金属のフレームにセラミックを焼き付ける白い歯（陶材冠）は、綺麗ですが欠けやすいのが欠点でした。強くて白い新素材が登場し耐久性が格段に向上しています。

「下あごの総入れ歯が安定せず、困っている」
⇒あごが痩せて入れ歯が安定しない、食べ物が挟まりやすく噛むと痛いなど、上あごに比べて調整が難しいのが下あごの総入れ歯です。前方２本のインプラントにボタンを付けて入れ歯を安定させる「アタッチメント義歯」が簡便で好評です。

※インプラント治療は、健康保険が適用されない「自由診療」です。詳しい費用は当院ホームページのデンタルインプラントのページにてご確認ください。

# Nursing for you 69

～あなたに伝えたい看護の心～

## 年女&年男に聞く今年の抱負

2017年は酉年ですね。今年と同じ干支の「年男・年女」は「12年に1度の良い年」とされています。そんな酉年生まれの職員10名から今年の抱負を寄せてもらいました。

酉年生まれですが、早起きは苦手です。早起きは三文の徳。早起きして、一日の計画を立てる。そんな年にしたいです。

**5階東病棟 看護師**
**阿部（あべ）　遥（はるか）**

今年で入社して2年目。患者さんに寄り添えるケアができるよう、知識と技術向上を図りたいです。初心を忘れず、いつも笑顔で楽しく仕事をしたいです。

**5階東病棟 介護福祉士**
**齋藤（さいとう）　里美（さとみ）**

4階西病棟勤務になり、早いもので4年半。今年も患者さんに寄り添った介護を行えるよう笑顔を忘れずに頑張ります。公私ともに成長できる1年にしたいです。

**4階西病棟 介護福祉士**
**藤塚（ふじつか）　絵利（えり）**

看護師になり早3年目を迎えようとしています。今年も成長、学びの多い1年にしたいと思います。

**4階西病棟 看護師**
**酒井（さかい）　円賀（まどか）**

4階西病棟は様々な診療科があり、目まぐるしい毎日ですがスタッフ同士で協力し合いゆとりある看護を提供していきたいと思います。

**4階西病棟 看護師**
**奥山（おくやま）　歩（あゆみ）**

入職して13年、あっという間に過ぎたように感じます。去年は体調を崩したので、今年は健康管理をしっかりして、笑顔を忘れずに頑張りたいです。

**2階病棟 看護師**
**工藤（くどう）　真寿美（ますみ）**

気持ち的にはまだまだ若いつもりですが、3回目の成人式を迎える年になります。健康に気をつけ、日々の暮らしを一歩一歩進みたいと思います。

**3階東病棟 介護福祉士**
**工藤（くどう）　りつ**

健康が第一!! いつまでも初心を忘れず、患者さんに寄り添った介護ができるよう仲間たちと頑張っていきます。

**3階東病棟 介護福祉士**
**小林（こばやし）　佑樹（ゆうき）**

早いものであっという間に3回目の年男になりました。少しずつではありますが、成長しております。新しいことを体験しながらもっと楽しいことをしていきたいです。

**5階東病棟 介護福祉士**
**小野寺（おのでら）　司（つかさ）**

今年、私は還暦を迎えます。今年も思い残すことのないようにしっかり働いて、今後につなげたいと思います。

**4階東病棟 看護師長**
**相馬（そうま）　喜美子（きみこ）**

### 看護師採用試験のご案内

**採用については個別にお問い合わせください。**

**◆場　所**
庄内余目病院２階会議室

**◆試験内容**
作文、面接

### 看護学生の授業料を支援！奨学金制度のご案内

**◆対象者**
・看護大学または看護専門学校に在学する学生
・2017年４月看護大学、看護専門学校入学決定者

**◆貸出金額**　月５万円（学校の修学期間）

**◆貸与条件**
卒業後当院で勤務を希望する方。貸与年数と同期間勤務した場合には返済免除。

### 問い合わせ先

庄内余目病院
TEL：**0234-43-3434**（代）
（担当）総務課／佐々木

# 患者さん体験記

病気と闘う方にとって体験者の方の声はなにより心強いものです。このコーナーでは様々な患者さんの病気を乗り越えた経緯や治療の経験など、貴重なお話を掲載しています。

## 心筋梗塞
## 春原 嘉明さん の場合
（埼玉県在住・72歳）

若くして心筋梗塞で倒れ、以来、心臓を長く患い入院治療を繰り返していた春原さん。不幸にもまた同じ病に倒れ緊急入院となり、バイパス手術という大がかりな手術の選択を迫られてしまいます。そんな時、当院の心臓カテーテル手術で治る事が分かり、体にメスを入れることなく治療することができました。

### もともと心臓に持病がありました

初めて心筋梗塞で倒れたのが52歳の時。その際カテーテル手術をして頂いたのが庄内余目病院の菊池正先生でした。それから先生にはカテーテル手術を7～8回して頂き、今日まで生き長らえてきました。前回、庄内余目病院でカテーテル手術を受けてから4年。この間、2年程前から体調の変化を自覚していました。階段を10段程度上り下りするだけで息切れがしたり、夜安静にしている時に軽度の胸の痛みを感じるようになりました。

### 誤った自己判断をしなければ…

問題だったのは、呼吸が苦しくなるので、肺に異常があるのではないかと自己判断していたことです。現在、通院している内科医師にその旨を訴えたのですが、循環器科ではなく糖尿病専門だったので適切な判断をして頂けませんでした。そのうちに体調がおかしくなり、去年6月に救急車で運ばれて緊急入院に。その時の担当医からは体を大きく切り開かなければならない心臓バイパス手術を勧められました。私としてはそれがどんなものか、すぐに施術しないと命が危ないのかとても心配でした。そんな時に菊池先生にご相談したところ、診て頂けることになり、庄内余目病院に再度入院。今回も体に負担の少ないカテーテル手術で治療していただけることになりました。

### 再び心臓カテーテル手術を受けて

手術は冠動脈の枝分かれ部分の血管が詰まっており、困難な状況で4時間程かかりました。術後は腎臓透析もして頂き、退院後は支障なく日常生活を過ごせるようになりました。

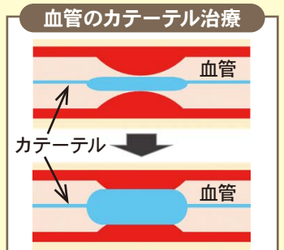
今回の反省事項としては、若い時とは違う症状の変化に気づくこと。しかるべき専門医に積極的に症状を伝え、相談することが大切だと痛感しました。

最後になりますが、菊池先生はじめ看護師の皆さんには大変お世話になりました。看護師の皆さんの親しみのある庄内弁を聞きながら、快適な入院生活を送ることが出来ました。ありがとうございました。



### 心臓カテーテル治療（経皮的冠動脈形成術）とは？

経皮的冠動脈形成術は、日本に導入されて約33年が経過し、外科手術に比べて患者さんの体への負担が少ないため、心臓血管や下肢動脈系の中心的な治療法として普及してきました。最近ではカテーテルやステントなどの機材がさらに改良されており、局所麻酔で行え、高齢の方でも受けられる治療法と言われています。今まで手術と言われていた左主幹部や慢性完全閉塞病変といった複雑病変などもカテーテル治療で行え、今や治療出来ない病変は皆無といっても過言ではなくなりました。ただ、カテーテル治療の一番の適応は急性心筋梗塞の方であり、今詰まった血管を再開通させることで心臓機能を温存することです。



血管にバルーン（風船）やステント（特殊な金属の筒）がついたカテーテル（管）を入れて、狭くなった部分を広げます

### 再狭窄予防ステントの登場

以前のバルーンやステントでは、3～6か月でまた治療した血管が狭くなること（再狭窄率30～40%）が問題でしたが、13年前から日本でも再狭窄予防のステントが使用できるようになり、再狭窄率は5%以下まで減少しました。今まではステントを入れた後、抗血小板剤（血液をサラサラにする薬）を約１年間服用していましたが、ステントがさらに改良された現在は、その期間が3～6か月に短縮されました。また、今年は3～5年で血管に吸収され、ステントが消失する生体吸収ステントが使用できるようになる予定です。

しかしながら、一度治療しても、心筋梗塞をもたらす動脈硬化は病変部以外の冠動脈や全身の血管の至る所に存在し、数年後には新たな病変に進行することが分かっています。カテーテルによる局所の治療だけでは再発を予防できず、薬物による血圧や糖尿病、コレステロール値などの全身管理が必要になります。

### 主治医メッセージ

副院長（兼）
心臓センター長
菊池 正

春原さんの場合は糖尿病や喫煙歴があり、20年前には急性心筋梗塞でステント挿入をしており、以後計7～8回カテーテル検査治療を私が行ってきました。私が庄内余目病院に赴任し、この４年間カテーテル検査をしなかったため不幸にも昨年6月に再度心筋梗塞を発症。左主幹部、重症3枝病変（1枝は慢性完全閉塞）の状態で、他院ではバイパス手術と言われてショックを受け、私に相談の電話がありました。

他院で受けた心臓カテーテル検査の画像を見たところ、カテーテル治療は可能と判断し、１度に左主幹部、慢性完全閉塞、３枝病変の治療を行いました。

治療後症状は消失しましたが、再発しないためにも薬をきちんと内服すること、糖尿病やコレステロールなどのリスク管理をすること、2年に1回は冠動脈CT検査を受けること、症状がある場合は主治医に相談し、積極的にカテーテル検査を受けることが重要です。

# 健康友の会コーナー

会員数：2,469名（12/31現在）

## 気持ちを新たに結束
## 今年初の役員会を開催しました

1月18日（水）、2017年最初の役員会を開催しました。開会に先立ち、昨年12月19日に亡くなられた佐藤貞男健康友の会会長のご冥福を祈り、黙祷をささげました。佐藤会長のこれまでの功績を偲び重く受け止めながら、役員一同、病院と一丸となって邁進することを誓いました。

新年にあたって、健康友の会の梅木作一副会長、庄内余目病院の寺田康院長より挨拶がありました。その後、昨年10月16日に開催した設立25周年記念健康フェスティバルの決算報告、２～３月に期間限定で行う人間ドック、友の会ニュースの内容等について協議しました。

役員会終了後、庄内町内に場所を移し親睦会を行いました。各地域における問題点などを意見交換し、今後の健康友の会の体制、あり方を考えました。

テーマ「転ばない体を作ろう」

## 庄内町南口公民館にて“健康講座”開催

１月19日（木）、庄内町南口仲良し会の新年会で健康講座を開催しました。この会での講座は毎年の恒例行事となっています。

今回は、「冬は家に閉じこもりが多いので体を動かすようなこと」の要望があり、庄内余目病院 健康増進センターの髙橋未央健康運動指導士より、講話と筋トレ体操の指導がありました。

＼健康友の会 会員のみ／

## 期間限定 人間ドックのご案内

病気予防には、早期発見が一番です。この機会に、ぜひ“健康チェック”をしてみてはいかがでしょうか。

**【実施期間】**
２月１日（水）～ ３月３１日（金）

**【お申し込み・お問い合わせ先】**
庄内余目病院 １階 健康管理センター
☎ 0234-43-2424（直通）

**【予約受付時間】**
13：00～17：00
※予約人数に限りがありますので、定員になり次第終了させていただく場合がございます。

## 故 佐藤貞男氏を偲ぶ

庄内余目病院 理事長
瀧澤（たきざわ） 佐武郎（さぶろう）

昨年10月16日、庄内余目病院開設25周年記念式典で、健康友の会会長として佐藤貞男氏の力強いご挨拶をいただいたばかりでした。氏の笑顔と年齢を感じさせない力強いお声が突然聴けなくなったことが今も信じられない思いでいます。初めて余目で佐藤貞男氏にお会いしたのは病院開設準備にとりかかった、かれこれ30年前のことになります。

当時、佐藤貞男氏は余目町議会議長職にありながら病院誘致のため「健康友の会」を立ち上げられました。郷土への深い無私の愛が、徳洲会徳田虎雄理事長の絶大な信頼を得て、県医師会、庄内医師会との度重なる話し合い、日本１、２の肥沃な土地を当時の農業振興法指定土地から除く農振除外等、いくつもの難関を持ち前の明るさと粘り強さで突破なさってきました。

愈々（いよいよ）病院建設が始まる前年の秋、敷地予定地の見渡す限りの黄金の穂波を手をかざして見つめられ、「あぁこの景色も今年で最後だなぁ」とつぶやかれた声が今も耳にのこります。

佐藤貞男氏、池田勝彦氏（健康友の会事務局長）を中心に友の会の活動がなければ、庄内余目病院は開設以来のスムーズな船出とたゆみない成長を続けることはできなかったでしょう。

佐藤貞男氏の生涯を貫いた故郷への愛、農業への愛、それに対する地域の方々のゆるぎない信頼が病院の支えでした。お会いする度に、氏の自然な笑顔と気力みなぎるお声で私はエネルギーを吹き込まれる思いがいたしました。郷土と病院に傾注されたその情熱を思い、今後いかなる困難に出会おうとも記憶に刻まれた氏のお姿と声を力にして乗り越えていくことをお約束します。

言い尽くしませぬ感謝と心からのご冥福をお祈り申し上げます。

壇上に立つ佐藤貞男会長

開設し間もない
庄内余目病院

## 友の会の会員特典

1. 入院時のテレビカードの割引
2. 人間ドックの大幅割引（期間限定）
3. 庄内余目病院無料バスの利用
4. 友の会主催の各事業への参加

＼ぜひご入会下さい／

※会費は
年度1,000円
（個人）です。

（事務局・志田）

# 解説します！ 病院のことば

病院内を歩いていると、「これは？？」と思う専門用語がいっぱいありませんか？当院のスタッフは普段から分かりやすい説明を心掛けていますが、なかなか伝わりにくいこともあるようです…。このコーナーではそんな言葉を詳しくご紹介します。

今月は…

## 「誤嚥」（ごえん）

異物を飲み込んでしまう「誤飲」とは違うよ。

誤嚥とは食べ物や唾液が誤って気管に入る事を言います。食事中のむせや咳、食事中に痰が絡んだような声になる等の声の変化、食事中の疲労等が見られた場合には誤嚥を起こしていることが疑われます。

誤嚥の原因は 1. 器質的原因（口腔、咽頭、食道の炎症、腫瘍など）2. 機能的原因（脳血管障害、神経筋疾患、加齢）3. 心理的原因（うつ病、拒食など）4. その他（薬剤の副作用、入れ歯の不適合）が挙げられます。誤嚥が怖いのは誤嚥性肺炎を発症することがあり、体力の低下や命の危険にもつながってしまうからです。

誤嚥や誤嚥性肺炎を予防するためには、口や首の運動や歌を歌ったりして、飲み込むための筋力や呼吸機能の維持を図る方法があります。また、飲み込みにくい食事（パサつくもの、のどに貼りつきやすいもの、繊維の多いもの等）を避ける、水分にはとろみをつけるといった食事の工夫も重要です。その他、口の中や入れ歯を清潔に保つことで肺炎を予防できるとも言われています。

当院では嚥下診療を行っています。内視鏡を使用して飲み込みの様子を確認し、誤嚥を防ぐための食事方法のアドバイスを専門の医師が行います。興味のある方はお問い合わせください。

（リハビリテーションセンター 言語聴覚士／阿部）

飲み込む力の弱い患者さん用のソフトペースト食がこれ。他にも通常の食事をミキサーにかけた形態のミキサー食など、一人ひとりの飲み込みの機能に合わせた細かな食事提供がされているよ。

**嚥下診療のお問い合わせ先**
庄内余目病院　TEL：0234-43-3434（代表）担当：リハビリテーションセンター 言語聴覚士 阿部



# リハビリだより

～リハビリ豆知識や患者さんの活動訓練の様子をお届け～

今月は作品紹介

## 「毛糸の帽子」

今回は患者さんの作品をご紹介します。入院中に指の運動を兼ねて何かしたいという思いから、編み物をするきっかけに繋がったようです。担当の作業療法士が毛糸を準備し、デザインの構成は全て患者さんにおまかせしたとか。模様がさみしく感じ、ワンポイントをつけてみましたと工夫した部分を教えていただきました。手編みのぬくもりを感じますね。一際目を引く作品に仕上がっています。

（作業療法士／阿部）

今月の表紙写真は

**「凍る滝」**
撮影者／山本孝子さん（酒田市）

酒田市升田の玉簾の滝が凍っているのに驚きました。美しかった。
（2016年2月18日撮影）

# お知らせコーナー

## 少人数から多人数まで “無料出張医療講演”承ります

庄内余目病院では皆さんの豊かな健康づくりのため、地域に出向いて医療講演会を開催しています。講演会費用は一切かかりません。各種研修会や会合、町内会行事、慰労会、婦人会、学校の保健教育などの際にご利用ください。

【過去の講演会の様子】
講演テーマ
「健康は健口から」
歯科衛生士
菅原 真里

**【講演テーマ例】**
- ◆足の病気編（糖尿病と足の病気、足のお手入れ）
- ◆検査・治療編（最新の内視鏡手術、腰痛の治療法）
- ◆歯の病気編（インプラント治療、お口のお手入れ）
- ◆高齢者と介護編（認知症と物忘れ）
- ◆運動療法編（筋トレ体操、転倒予防の運動）
- ◆食事療法編（生活習慣病と食事療法、減塩の工夫）
- ◆くすり編（おくすりの正しい使い方）
- ◆エンディングノートの活用　など

※開催日時・場所・講演テーマが決まりましたら、下記までご連絡ください。

**【お申込み・問い合わせ先】**
**庄内余目病院　☎0234-43-3434（代表）**
担当／企画課 遠藤・山木
インターネット 庄内余目病院 医療講演 で検索！

## 編集後記

２月といえば節分の季節ですね。最近では、節分の夜にその年の恵方に向かって、願い事を思い浮かべながら“恵方巻”を丸かじりすることが恒例となっております。実はこの“恵方巻”、某コンビニエンスストアの広報戦略で作られた名前である事はご存知でしょうか？ちなみに今年の恵方は“北北西”だそうです。（臨床研修センター／西川）

# 2017年2月 診療担当医師予定表

| | | 1 水 | 2 木 | 3 金 | 4 土 | 5 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 午前 | ※山本/内科医師 | ※山本/西島 | 西島/内科医師 | 内科医師 | 元旦 |
| | 夕診 | ※山本 | 小山 | - | - | |
| 呼吸器内科 | | - | - | - | 呼吸器内科医師 | |
| 総合診療科 | 夕診 | - | - | ※寺田 | - | |
| 緩和ケア外来 | | - | - | - | - | |
| 外科 | 午前 | 木村/森 | 森 | 木村/平﨑 | 外科医師 | |
| | 夕診 | - | - | - | - | |
| 脳神経外科 | 午前 | 伊﨑 | 伊﨑 | 畠山 | 畠山 | |
| | 夕診 | - | 伊﨑 | - | - | |
| 脊椎センター せぼね外来 | | - | - | 菅原/東山 | 東山 | |
| 歯科口腔外科 | 午前 | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水 | |
| | 午後 | 清水/星野 | 清水/星野 | - | - | |
| | 夕診 | - | - | - | - | |
| 心臓センター（循環器内科・心臓血管外科） | 午前 | ㊐菊池 | ㊐菊池/�心圓本 | ㊐菊池/�心嶌田 | - | |
| | 夕診 | - | �心圓本 | - | - | |
| 婦人科 | 午前 | 森﨑 | - | 森﨑 | - | |
| | 夕診 | - | - | - | - | |
| リウマチ膠原病科 | 午後 | - | - | 六反田 | - | |
| 足と傷の外来・形成外科 | | - | 富樫 | - | - | |
| 整形外科 | 午前 | 清野 | 清野 | 清野 | 菅谷 | |
| | 夕診 | - | - | - | - | |
| 皮膚科 | | 小栗 | - | - | - | |
| 泌尿器科 | 午前 | 斑目 | - | - | ※三木 | |
| | 午後 | 斑目 | - | - | - | |

| | | 6 月 | 7 火 | 8 水 | 9 木 | 10 金 | 11 土 | 12 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 午前 | 西島 | 西島/林 | ※山本/内科医師 | ※山本/西島 | 西島/内科医師 | 建国記念の日 | 休日 |
| | 夕診 | ※西島 | - | ※山本 | 小山 | - | | |
| 呼吸器内科 | | - | 野尻 | - | - | - | | |
| 総合診療科 | 夕診 | - | - | - | - | 休診 | | |
| 緩和ケア外来 | | - | 坂井 | - | - | - | | |
| 外科 | 午前 | 木村 | 木村/坂井 | 木村/森 | 森 | 木村/平﨑 | | |
| | 夕診 | - | 木村 | - | - | - | | |
| 脳神経外科 | 午前 | 伊﨑 | 伊﨑 | 伊﨑 | 工藤 | 工藤 | | |
| | 夕診 | 伊﨑 | - | - | 工藤 | - | | |
| 歯科口腔外科 | 午前 | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | | |
| | 午後 | - | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | - | | |
| | 夕診 | 清水/星野 | - | - | - | - | | |
| 心臓センター（循環器内科・心臓血管外科） | 午前 | ㊐葉山/�心圓本 | ㊐茶谷/�心寺田 | ㊐菊池 | ㊐菊池/�心圓本 | ㊐菊池/�心嶌田 | | |
| | 夕診 | - | - | - | �心嶌田 | - | | |
| 婦人科 | 午前 | - | 森﨑 | 森﨑 | - | 森﨑 | | |
| | 夕診 | 森﨑 | - | - | - | - | | |
| リウマチ膠原病科 | 午前 | - | - | - | - | - | | |
| | 午後 | - | - | - | - | 岸本 | | |
| 神経内科 | | - | - | - | - | - | | |
| 足と傷の外来・形成外科 | | 富樫 | - | - | 富樫 | - | | |
| 整形外科 | 午前 | 清野 | 早川 | 清野 | 清野 | 清野 | | |
| | 夕診 | - | 大利 | - | - | - | | |
| 皮膚科 | | - | 矢島 | - | - | - | | |
| 泌尿器科 | 午前 | - | - | 牧野 | - | - | | |
| | 午後 | - | - | 牧野 | - | - | | |
| 精神科 | | - | - | - | - | 馬場 | | |

| | | 13 月 | 14 火 | 15 水 | 16 木 | 17 金 | 18 土 | 19 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 午前 | 西島 | 西島/林/内科医師 | ※山本/内科医師 | ※山本/西島 | 内科医師 | 内科医師 | 休日 |
| | 夕診 | ※西島 | - | ※山本 | 小山 | - | - | |
| 呼吸器内科 | | - | - | - | - | - | 石井 | |
| 総合診療科 | 夕診 | - | - | - | - | 休診 | - | |
| 緩和ケア外来 | | - | 坂井 | - | - | - | - | |
| 外科 | 午前 | 木村 | 木村/坂井 | 木村/森 | 森 | 木村/平﨑 | 外科医師 | |
| | 夕診 | - | 木村 | - | - | - | - | |
| 脳神経外科 | 午前 | 伊﨑 | 伊﨑 | 伊﨑 | 伊﨑 | 畠山 | 畠山 | |
| | 夕診 | 伊﨑 | - | - | 伊﨑 | - | - | |
| 歯科口腔外科 | 午前 | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | 星野 | |
| | 午後 | - | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | - | - | |
| | 夕診 | 清水/星野 | - | - | - | - | - | |
| 心臓センター（循環器内科・心臓血管外科） | 午前 | ㊐葉山/㊐圓本 | ㊐茶谷/㊐寺田 | ㊐菊池 | ㊐菊池/㊐圓本 | ㊐菊池/㊐嶌田 | - | |
| | 夕診 | - | - | - | ㊐嶌田 | - | - | |
| 婦人科 | 午前 | - | 森﨑 | 森﨑 | - | 森﨑 | - | |
| | 夕診 | 森﨑 | - | - | - | - | - | |
| リウマチ膠原病科 | 午前 | - | - | - | - | - | - | |
| | 午後 | - | - | - | - | 岸本 | - | |
| 神経内科 | | - | - | - | - | - | 高橋 | |
| 足と傷の外来・形成外科 | | 富樫 | - | - | 富樫 | - | - | |
| 整形外科 | 午前 | 清野 | 早川 | 清野 | 清野 | 清野 | 早川 | |
| | 夕診 | - | 大利 | - | - | - | - | |
| 皮膚科 | | - | 矢島 | - | - | - | - | |
| 泌尿器科 | 午前 | - | - | 牧野 | - | - | - | |
| | 午後 | - | - | 牧野 | - | - | - | |
| 物忘れ外来 | | - | - | - | - | - | 高橋 | |

| | | 20 月 | 21 火 | 22 水 | 23 木 | 24 金 | 25 土 | 26 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 午前 | 西島 | 西島/林 | ※山本/内科医師 | ※山本/西島 | 西島/内科医師 | 内科医師 | 休日 |
| | 夕診 | ※西島 | - | ※山本 | 小山 | - | - | |
| 呼吸器内科 | | - | 野尻 | - | - | - | - | |
| 総合診療科 | 夕診 | - | - | - | - | ※寺田 | - | |
| 緩和ケア外来 | | - | 坂井 | - | - | - | - | |
| 外科 | 午前 | 木村 | 木村/坂井 | 木村/森 | 森 | 木村/平﨑 | 外科医師 | |
| | 夕診 | - | 木村 | - | - | - | - | |
| 脳神経外科 | 午前 | 伊﨑 | 伊﨑 | 伊﨑 | 濵﨑 | 濵﨑 | 濵﨑 | |
| | 夕診 | 伊﨑 | - | - | 濵﨑 | - | - | |
| 脊椎センター せぼね外来 | | - | - | - | - | 菅原/東山 | 菅原 | |
| 歯科口腔外科 | 午前 | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | 星野 | |
| | 午後 | - | 清水/星野 | 清水/星野 | 清水/星野 | - | - | |
| | 夕診 | 清水/星野 | - | - | - | - | - | |
| 心臓センター（循環器内科・心臓血管外科） | 午前 | ㊐葉山/㊐圓本 | ㊐茶谷/㊐寺田 | ㊐菊池 | ㊐菊池/㊐圓本 | ㊐菊池/㊐嶌田 | - | |
| | 夕診 | - | - | - | ㊐寺田 | - | - | |
| 婦人科 | 午前 | - | 森﨑 | 森﨑 | - | 森﨑 | - | |
| | 夕診 | 休診 | - | - | - | - | - | |
| リウマチ膠原病科 | 午前 | - | - | - | - | - | - | |
| 神経内科 | | - | - | - | - | - | 高橋 | |
| 足と傷の外来・形成外科 | | 富樫 | - | - | 富樫 | - | - | |
| 整形外科 | 午前 | 清野 | 早川 | 清野 | 清野 | 清野 | 早川 | |
| | 夕診 | - | 大利 | - | - | - | - | |
| 皮膚科 | | - | 矢島 | - | - | - | - | |
| 泌尿器科 | 午前 | - | - | 牧野 | - | - | - | |
| | 午後 | - | - | 牧野 | - | - | - | |
| 物忘れ外来 | | - | - | - | - | - | 高橋 | |
| 精神科 | | - | - | 馬場 | - | - | - | |

| | | 27 月 | 28 火 |
|---|---|---|---|
| 内科 | 午前 | 西島 | 西島/林/内科医師 |
| | 夕診 | ※西島 | - |
| 総合診療科 | 夕診 | - | - |
| 緩和ケア外来 | | - | 坂井 |
| 外科 | 午前 | 木村 | 木村/坂井 |
| | 夕診 | - | 木村 |
| 脳神経外科 | 午前 | 伊﨑 | 伊﨑 |
| | 夕診 | 伊﨑 | - |
| 脊椎センター せぼね外来 | | - | - |
| 歯科口腔外科 | 午前 | 清水/星野 | 清水/星野 |
| | 午後 | - | 清水/星野 |
| | 夕診 | 清水/星野 | - |
| 心臓センター（循環器内科・心臓血管外科） | 午前 | ㊐葉山/㊐圓本 | ㊐茶谷/㊐寺田 |
| | 夕診 | - | - |
| 婦人科 | 午前 | - | 森﨑 |
| | 夕診 | 森﨑 | - |
| 神経内科 | | - | - |
| 足と傷の外来・形成外科 | | 富樫 | - |
| 整形外科 | 午前 | 清野 | 早川 |
| | 夕診 | - | 大利 |
| 皮膚科 | | - | - |
| 泌尿器科 | 午前 | - | - |
| | 午後 | - | - |

◎※印の付いている医師は予約の患者さんのみの診察とさせていただきます。

◎都合により担当医師が変更になる場合がございます。

◎心臓センター診療科について㊐は循環器内科、㊐は心臓血管外科の略です。

◎オレンジ色のマスは 女性医師が担当 している枠です。

# 診療時間のご案内

| | 午前診 | 午後診 | 夕　診 | 診療科により診察曜日が異なることがあります。ご確認ください。 |
|---|---|---|---|---|
| 内　　科 | 9:00～12:00 | ― | 17:00～19:00※ | 夕診は月･水･木曜日 |
| 総合診療科 | ― | ― | 17:00～19:00 | 毎週金曜日夕診のみ |
| 外　　科 | 9:00～12:00 | ― | 17:00～19:00 | 夕診は火曜日 |
| 整形外科 | 9:00～12:00 | ― | 17:00～19:00 | 夕診は火曜日。火･土の受付時間は11:30まで |
| 皮　　膚　　科 | 9:00～12:00 | ― | ― | 火または水　受付時間は11:00まで |
| 脳神経外科 | 9:00～12:00 | ― | 17:00～19:00 | 夕診は月･木曜日 |
| 歯科口腔外科 | 9:00～12:00 | 14:00～17:00 | 16:00～19:00 | 午後診は毎週火～木曜日、夕診は月曜日 |
| 泌尿器科 | 9:00～12:00 | 14:00～16:00 | ― | 午後診は水曜日。第1土曜日は予約のみ |
| 心臓センター（循環器内科･心臓血管外科） | 9:00～12:00 | ― | 17:00～19:00 | 夕診は1階外来で木曜日 |
| 神経内科 | 8:30～11:30 | ― | ― | 第3･4土曜日 |
| 婦　人　科 | 9:00～12:00 | ― | 16:00～19:00 | 午前診･･･火･水･金　夕診･･･月 |

※内科月･水の夕診は予約制。予約外の方は内科医師以外の代診となる場合があります。

## ●今月の特別外来●

| | | |
|---|---|---|
| 足と傷の外来･形成外科 | 予約制 | 毎週月･木曜日 |
| DM（糖尿病）フットケア外来 | 予約制 | 毎週月･木･金曜日 |
| 精　神　科 | 予約制 | 第2金曜日、第4水曜日 |
| 脊椎センター　せぼね外来 | 予約制 | 第1･4金土曜日 |
| 物忘れ外来 | 予約制 | 第3･4土曜日 |
| リウマチ膠原病科 | 9:00～12:00 | 第3土曜日（予約制） |
| | 13:30～16:00 | 第1･2金曜日（予約制） |
| 緩和ケア外来 | 9:00～12:00 | 毎週火曜日（予約制） |
| 呼吸器内科 | 9:00～12:00 | 第1･3火曜日、第1･3土曜日 |

**診療は･･･**

土曜（午前）と平日の夕方診療（19時まで）も行っています。

（診療科により曜日が異なります）

尚、救急患者さんはいつでも受付致します。

## 予約受付について

診察予約、予約の変更は下記までお電話ください。

【通常予約】 TEL **0234-43-3434**（代表）　受付時間／平日 13:00～17:00

※歯科口腔外科は受付時間が上記と異なります。

電話受付時間／月～木曜 9:00～12:00、14:00～17:00、金･土曜 9:00～12:00のみ

【足と傷の外来･フットケア外来予約専用】 TEL **0234-43-3470**（地域医療連携室）　受付時間／平日 13:00～17:00


医療法人社団 山形愛心会 **庄内余目病院**

〒999-7782 山形県東田川郡庄内町松陽1-1-1

**電　話　0234-43-3434㈹**

ファックス　0234-43-3435

E-mail　amarumehp@tokushukai.jp

病院ホームページ　http://www.amarume-hp.jp


理事長　瀧澤佐武郎

院　長　寺田　康

●基本理念●

生命を安心して預けられる病院

健康と生活を守る病院

地域に貢献する病院

●患者様の権利●

1. 人格とプライバシーを尊重される権利
2. 良質の医療を受ける権利
3. 説明を受ける権利
4. 自己決定の権利
5. 個人情報保護の権利
6. 診療情報の提供を受ける権利
7. 健康教育を受ける権利
8. 宗教的支援に対する権利


あまるめ～る2月号　No.180

■発行　2017年（平成28年）2月1日（毎月1回1日発行）

■編集　あまるめ～る編集部会

■印刷所　朝日印刷株式会社

■発行部数　3000部